

J R 東日本労働組合

NAGANO

E-mail naga-30-naga@hotmail.co.jp



2019年 1月14日 No. 297

JR東日本労働組合

長野地方本部

発行者：臼井幸一

編集：情宣部

2019春闘のたたかいスタート!

要求満額獲得



たたかい

全組合員でたたかいをつくり出そう!

2019春闘がスタートしました。安倍首相が12月26日、6年連続で経済界に賃上げを要請したことで、2019春闘もこれまで同様に「官製春闘」が続くことになりました。昨年の2018春闘では安倍首相が企業側に「3%以上の賃上げ」を求めましたが、今年は経団連の中西会長が一貫して「賃上げは経営側と労働側の折衝だ」と訴えてきたこともあり、安倍首相は今回昨年のような具体的数値目標は示さず、経済界との一定の距離感を保った形になりました。一方、経団連は数値目標を削除し、各社の経営状況に応じた交渉を進めるとの姿勢を明確にし、「官製春闘」からの脱却を目指しています。

一方「連合」は2019春闘の闘争方針で、

- ・2019春季生活闘争は、賃上げの継続による「底上げ・底支え」「格差是正」と「すべての労働者の立場に立った働き方」の実現を目指す。
 - ・「経済の自律的成長」と「社会の持続性」を実現するためには、継続した所得の向上と将来不安の払しょくによる消費の拡大に加えて、労働組合の有無にかかわらず、一人ひとりの働きが重視され、その価値に見合った処遇が担保される社会を実現していく必要がある。2019春闘はその足がかりを築いていく年と位置付け、まずは中小組合や非正規労働者の賃金を「働きの価値に見合った水準」へと引き上げていくためにも、賃金の「上げ幅」のみならず「賃金水準」を追求する闘争に強化していく。
 - ・長時間労働の是正や個々人の状況やニーズにあった多様な働き方を選択できる仕組みを整える。
 - ・あわせて、賃上げと健全で安全で働き甲斐のある職場の実現が同時に推し進められるよう、取引の適正化の実現を社会に向けて発信していく。
- などとなっています。

今後、情勢を鑑みて様々な方針が決定していきます。他人事とせず全社員でのたたかいになるよう、全組合員で春闘に決起していきましょう!